

一般質問



教員の資質向上と 信頼構築に向けた対応



無会派 ● 澤田 厚 議員

現状と対応体制について

問 近年に発生した教員による不祥事件数は、

答 令和元年度末から

2年度にかけて発生した個人情報紛失とその報告の遅れという事案がございました。それ以降、不祥事案は本市では発生しておりません。

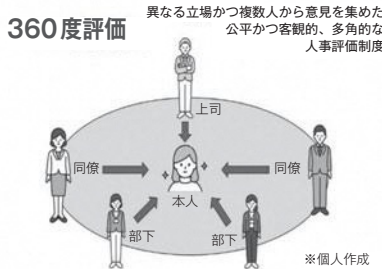
再発防止と研修強化について

問 教職員の過重労働問題についての現状認識と対策は。

答 大きな課題であると認識しています。市内教職員の超過勤務の状況については、校務支援システムにおいて把握しており、近年のさまざまな取組により縮減傾向であると把握しています。市外から転任してきた教職員の多くが、「湖南市は働きやすい」と答えていることから、取組が

徐々に成果となって表れているものと考えます。

人事制度と評価の見直し



問 複数者の視点を取り入れた360度評価等の多面的な評価制度の導入は。

答 県の人事評価の評価者研修で一次評価者（教頭）、二次評価者（校長）の力量を高めながら、法に基づいた人事評価を実施し、教職員の資質向上、ならびに学校組織の目標達成を目指してまいりますので、新たな評価制度の導入については現在考えておりません。



多様な働き方ができる 女性活躍推進を



湖南市公明党議員団 ● 副田 悦子 議員

女性活躍推進について

(1) 継続して働きやすくするために

問 休暇について

答 職員が安心して継続的に勤務できるよう各種休暇制度を整備しています。生理休暇取得実績は増えつつあり、育児休暇においては女性男性問わず100%の取得率です。

問 時短勤務について

答 子を養育する職員が継続して勤務できるよう「育児短時間勤務」「部分休業」などの制度を整備し、職員の福祉の向上と公務の円滑な遂行の両立を図っています。

問 職場環境について

答 女性活躍を推進していくためには、制度整備にとどまらず、男性職員が妊娠・出産・育児について理解を深め、妊娠期や子育て期の女性を積極的にサポートしていくことが不可欠

です。男女を問わず誰もが働きやすく、互いに支え合える風通しのよい職場づくりが重要だと考えます。各所属内においても日頃から職場内のコミュニケーションを密にし休暇など取得しやすい雰囲気

を醸成するよう取り組んでいきます。

(2) 多様な働き方を実現するために

問 就労支援について

答 事業者からのニーズに応え、フオークリフト運転技能取得講習会をはじめビジネスマナースキルアップ研修などを開催しています。これからの多様な働き方ができるよう、またDX時代に対応した女性の人材育成につながる講習会などを計画するとともに「滋賀マザーズジョブステーション」などの関係機関とも連携をはかり取り組んでいきます。